



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名  
コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレ (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	62,982	2.9	256	△27.9	572	13.5	491	58.7
2024年3月期第1四半期	61,236	2.8	355	7.2	503	△1.0	309	5.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 461百万円 (△5.8%) 2024年3月期第1四半期 489百万円 (41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	22.19	-
2024年3月期第1四半期	14.00	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	70,713	26,379	36.5
2024年3月期	67,311	26,192	38.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 25,836百万円 2024年3月期 25,647百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	11.00	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	0.1	2,100	14.9	2,600	9.7	1,600	3.1	72.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	23,121,000株	2024年3月期	23,121,000株
2025年3月期1Q	989,405株	2024年3月期	989,384株
2025年3月期1Q	22,131,602株	2024年3月期1Q	22,103,337株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により緩やかな回復基調にありますが、地政学的リスクの高まりや世界的な金融引締め継続、原材料・エネルギー価格の高騰による物価上昇の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界では、物流費や人件費などのコストの増加や、物価上昇による消費マインドの低迷など、厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは2030年度をゴールとする中長期的な経営ビジョンに「地域のスペシャルパートナー」を掲げ、当社グループの独自機能の提供とステークホルダーとの協業を通じて、日本全国の地域における食品流通の問題・課題を共に解決し、共に成長することを目指しております。

今年度は経営ビジョンの達成に向けた2025年度を目標年度とする「中期経営計画2025」の2年目として、「信州」「顧客」「産地」の3領域別方針と、「エンゲージメント経営」「業務構造改革」「サステナブル経営」の重点施策に取り組んでおります。

領域別方針の「信州」につきましては、2025年度を目途とする子会社(株)丸水長野県水との経営統合によるグループ再編により機能とリソースを集約し、業務用マーケットに対する営業体制や物流機能など、信州域内における総合力の強化を目指しております。

「顧客」につきましては、当社グループの強みである品揃え機能、商品開発機能、物流機能を活かせるエリアにおいて、アライアンスによる販売面や物流面での協業体制を構築しながら、戦略的に販売マーケットの拡大を進めております。

「産地」につきましては、国内養殖魚の事業領域を、従来のトレードモデル(集荷・販売)から、利益獲得が見込める生産分野へ拡大することで構造的な収益力強化を目指しております。また、国内天然魚の主要産地でのフルアソート調達取組強化や、子会社信田缶詰(株)の水産物の加工機能の拡充により、銚子前浜で水揚げされる水産物の付加価値化と流通拡大を推進しております。

重点施策の「エンゲージメント経営」につきましては、社員一人ひとりの力を最大限発揮するための環境整備と風土改革を進めております。「業務構造改革」につきましては、7月に導入した新基幹システム「M-BASE」の安定稼働に向け、全社を挙げて取り組んでおります。「サステナブル経営」につきましては、節電対策や太陽光パネル設置など事業価値向上に向けた普遍的な取組と、食育活動の推進やブルーカーボン事業への参画などの社会・環境価値向上に向けた当社グループ独自の取組を両輪で推進しております。

また、1月に発生した能登半島地震の復興支援の一環として、(株)スギヨ(本社：石川県七尾市)が製造する「ビタミンちくわ」の6月1日からの販売再開に合わせ、石川県食品協会が実施している「食べて復興支援がんばろう！能登」と連動した販促企画「ビタミンちくわ復活祭」を企画・運営し、ご賛同いただいたメーカー様と長野県全域の小売業様にご協力いただきながら、メディアと連携したプロモーションを展開いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇や、外食・観光マーケットの回復等により629億82百万円(前年同期比2.9%増)となりました。利益面につきましては、人件費や物流関連コストの増加等により営業利益2億56百万円(同27.9%減)、補助金や受取配当金等による営業外収益の増加もあり経常利益5億72百万円(同13.5%増)となり、固定資産売却益の計上等により親会社株主に帰属する四半期純利益4億91百万円(同58.7%増)となりました。

#### [セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

※なお、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

#### <水産事業セグメント>

国内天然魚の水揚量減少と水産物全般の相場高が継続する環境下、水産部門では養殖魚事業や銚子戦略など川上領域に対する戦略投資を進め、国内天然魚及び養殖魚の付加価値化と全国へのさらなる流通拡大を推進しております。デیلیー部門ではエリア卸とのアライアンス推進と調達・配荷物流機能の強化による販路拡大を推進しております。フードサービス部門では、当社グループの機能を活かした惣菜分野や業務用マーケット向けの商品提案を進めております。

売上高につきましては、養殖ブリと冷凍マグロの販売が好調に推移したことや、相場高に伴う販売単価の上昇もあり376億87百万円(前年同期比6.0%増)となりました。利益面につきましては、売上総利益の増加等により営業利益は1億41百万円(同23.1%増)となりました。

<一般食品事業セグメント>

相次ぐ商品の値上げにより消費者の節約志向が高まり、店頭での低価格競争が激化する中、信州域内（長野・山梨エリア）での卸売機能強化による収益力向上と、自社開発商品の販売拡大に向けた商品開発機能の強化と全国卸とのアライアンスによる販路拡大を推進しております。

売上高につきましては、買上げ点数の減少により販売が伸び悩み69億65百万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益面につきましては、売上総利益の減少等により営業損失は94百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

<畜産事業セグメント>

飼料価格の高騰に伴う国産畜肉の高値傾向と、円安の影響による輸入畜肉の仕入価格の高止まりが継続し、収益力の向上が課題となる中、製造・流通加工機能の強化に向けた食肉加工分野への重点投資を進めております。

売上高につきましては、畜産物の相場が総じて上昇傾向となり販売が鈍化したことから102億45百万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益面につきましては、相場高騰に伴う収益の低下と、調達・販売コストの上昇により営業利益は33百万円（同58.4%減）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

グループ内の経営資源の集約化による信州事業の再強化とグループ最適化の実現を目指し、2025年度を目途とする当社と(株)丸水長野県水との統合に向けた検討を進めております。

売上高につきましては、78億46百万円（前年同期比1.3%増）となりました。利益面につきましては、前年同期に発生した退職給付費用の一時的な減少からの反動により営業利益は1億43百万円（同26.9%減）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、売上高は2億37百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は32百万円（同20.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は707億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億1百万円の増加となりました。主な要因は、商品及び製品が34億65百万円増加したことによります。

負債は443億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億15百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が32億5百万円増加したことによります。

純資産合計は263億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億86百万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.1%から36.5%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2024年5月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,713	8,170
受取手形及び売掛金	26,285	26,200
商品及び製品	8,986	12,451
仕掛品	577	602
原材料及び貯蔵品	218	237
その他	2,581	3,193
貸倒引当金	△27	△46
流動資産合計	47,334	50,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,710	2,746
土地	6,417	6,195
その他(純額)	1,286	1,356
有形固定資産合計	10,414	10,298
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,849	2,919
その他	223	224
無形固定資産合計	3,073	3,144
投資その他の資産		
投資有価証券	3,838	3,815
退職給付に係る資産	397	416
その他	2,460	2,431
貸倒引当金	△208	△201
投資その他の資産合計	6,487	6,461
固定資産合計	19,976	19,904
資産合計	67,311	70,713
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,071	35,276
短期借入金	1,971	1,979
1年内返済予定の長期借入金	60	44
未払法人税等	439	163
賞与引当金	604	300
その他	4,245	4,885
流動負債合計	39,393	42,649
固定負債		
長期借入金	106	88
役員株式給付引当金	77	77
債務保証損失引当金	44	44
退職給付に係る負債	523	507
資産除去債務	161	162
その他	811	804
固定負債合計	1,724	1,683
負債合計	41,118	44,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,390	3,390
利益剰余金	18,437	18,662
自己株式	△1,069	△1,069
株主資本合計	24,478	24,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	1,245
退職給付に係る調整累計額	△115	△112
その他の包括利益累計額合計	1,169	1,133
非支配株主持分	545	543
純資産合計	26,192	26,379
負債純資産合計	67,311	70,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	61,236	62,982
売上原価	56,241	57,818
売上総利益	4,994	5,164
販売費及び一般管理費	4,639	4,907
営業利益	355	256
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	84
受取賃貸料	51	50
その他	42	194
営業外収益合計	164	329
営業外費用		
支払利息	2	2
固定資産除却損	1	7
持分法による投資損失	6	0
その他	5	3
営業外費用合計	15	13
経常利益	503	572
特別利益		
負ののれん発生益	10	—
固定資産売却益	—	139
特別利益合計	10	139
特別損失		
減損損失	11	—
段階取得に係る差損	7	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	495	711
法人税、住民税及び事業税	258	153
法人税等調整額	△85	59
法人税等合計	173	213
四半期純利益	321	497
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	309	491

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	321	497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	△40
退職給付に係る調整額	7	3
その他の包括利益合計	167	△36
四半期包括利益	489	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477	454
非支配株主に係る四半期包括利益	12	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	150百万円	171百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	35,548	7,148	10,517	7,746	60,959	276	61,236	—	61,236
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,548	7,148	10,517	7,746	60,959	276	61,236	—	61,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	361	37	410	130	939	1,049	1,988	△1,988	—
計	35,910	7,185	10,927	7,876	61,899	1,325	63,225	△1,988	61,236
セグメント利益 又は損失(△)	115	△76	80	195	314	40	355	—	355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	37,687	6,965	10,245	7,846	62,744	237	62,982	—	62,982
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,687	6,965	10,245	7,846	62,744	237	62,982	—	62,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	423	89	522	160	1,196	1,094	2,290	△2,290	—
計	38,110	7,055	10,768	8,006	63,940	1,332	65,272	△2,290	62,982
セグメント利益 又は損失(△)	141	△94	33	143	223	32	256	—	256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年4月1日に業務用事業強化のため、当社の連結子会社である(株)ナガレイと連結子会社であったマルゼンフーズ(株)の間で、(株)ナガレイを存続会社、マルゼンフーズ(株)を消滅会社とする吸収合併を行いました。また、同日に物流機能強化のため、当社の連結子会社であるマルイチ・ロジスティクス・サービス(株)と連結子会社であった(株)丸水運送センターの間で、マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)を存続会社、(株)丸水運送センターを消滅会社とする吸収合併を行いました。

これに伴い、従来「丸水長野県水グループ」に含まれておりましたマルゼンフーズ(株)の事業については「水産事業」へ、(株)丸水運送センターの事業については「その他」に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。